

浜坂道路2期 橋台に絵画 幅11.6㍍、高さ8㍍、浜坂高生が制作

ペンキで麒麟獅子舞を描く浜坂高の美術部員＝新温泉町板谷



新温泉

県が新温泉町で整備を進める山陰近畿自動車道「浜坂道路2期」で、道路桁を支える橋台にペンキ絵が登場した。地元の高校生が描いたもので、隣接する道の駅「山陰海岸ジオパーク浜坂の郷」(同町板谷)の駐車場から見る事ができる。

県新温泉土木事務所が、生徒に浜坂道路2期をより認知してもらおうと企画。絵柄は生徒らが案を出し合い、同町の文化や自然を表現する内容にした。

橋台のコンクリート壁(幅11.6㍍、高さ8㍍)をキャンパスに見立てて、浜坂高美術部の部員11人がペンキで描いた。穏やかな青い日本海を背景に、地元の伝統舞踊「麒麟獅子舞」と「傘踊り」を舞う人を両側にあしらった。「きょうも

幸せ」とのメッセージも添えている。

2年生の黒井彩加さん(16)は「海と山がある新温泉町の良さが伝われば。大人になって道路を走るのが楽しみ」。部長で3年生の毛戸ひよりさん(17)は「部員みんなで協力して、遠くからでも分かる良い絵に仕上がった」と話した。

浜坂道路2期は、既存の新温泉浜坂インターチェンジ(IC、同町板谷)から西へ7.6㍍の同町居組に至る自動車専用道路。同事務所によると、同ICでは今後、延伸部の本線と一般道をつなぐ連絡路を敷設するために盛り土が施されることから、ペンキ絵は約2年後に見られなくなるという。浜坂道路2期は2028年度までの開通を目指す。

(斎藤 晋)